

青少年相談センターだより

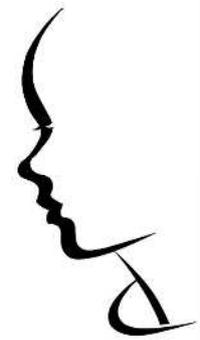
富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町1番1号 富士市教育プラザ内

電話<0545>52-4152

FAX <0545>52-3737

令和5年度 第4号



世界はあらゆる脳を必要としている

教育研修センター・特別支援教育センター所長 檜木 小重美

アメリカの動物学者、テンプル・グランディンさんは、自閉症を抱えた女性です。グランディンさんが生まれた頃は、まだ自閉症が社会的に認知されておらず、脳に障害があると、施設に預けられた経験を持たれています。そんなグランディンさんは、現在、自閉症啓発のための講演活動を行っています。その講演の中でおっしゃった言葉が、“The world needs all kinds of minds.”です。

自閉症の人たちは、多くの人たちとは異なる見方や思考をします。目や耳から入ってくるたくさんの情報の中から、必要な情報を、無意識のうちに選んでいることが多いのですが、すべてを同時に受け取る人たちがいます。あまり必要のない細かい部分は無視しながら情報を受け取ることが多いのですが、細かい部分もすべて同じようにキャッチする人たちがいます。また、何事にも完璧でないと気が済まない人たちもいます。

自閉症をもつ東田直樹さんは、その著書「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」の中で、「どうして目を見て話さないのですか？」という問いに対して、「僕らが見ているものは、人の声なのです。声は見えるものではありませんが、僕らはすべての感覚器官を使って話を聞こうとするのです。」とおっしゃっています。

自閉症と聞くと、その困り感や苦手な側面が強調されがちですが、実は非常に長い時間一つのことに集中できたり、他の人が気付かない細部まで気付いたり、詳細に記憶していたりなど、多くの人にはまねできない卓越した能力をもっている人もいます。グランディンさんは、講演の中で「初めて石槍を作ったのは誰だと思う？きっとアスペルガーの人よ。」ともおっしゃっています。発明家や芸術家などの中には、自閉症だったのではないかとされている人も多くいます。

当たり前のことですが、人は皆、異なる頭脳をもっています。それはすなわち、異なる感じ方や考え方をし、得意なことや苦手なことが違うということです。皆が同じような見方や考え方をしているのは、新しい発見は生まれにくいのだと思います。様々な感じ方や考え方をする脳を持つ人が協力して考えることで、新たな発見や進化が生まれるのでしょうか。つまり、どの人の脳も必要で、どの人も必要な人だということなのです。

「ほっとテレフォン・ふじ」受信状況(11月～1月)

1 総受信件数(令和5年11月から6年1月まで)
 受信件数(21件) 業務日数(54日)

2 曜日別受信状況

	月	火	水	木	金	計
件数	8	0	7	2	4	21
日数	10	11	11	10	12	54

3 時間帯別受信状況

時間帯	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	時間外	計
件数	2	1	0	2	1	4	11	0	0	21

4 通話時間別受信状況

時間	10分以内	10～20分	20～30分	30分以上	計
件数	21	0	0	0	21

5 学校, その他・男女別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	4	16
女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
計	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	21	

6 学校, その他・内容別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
A学校生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B対人関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C進路適性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D不登校	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
E心身発達	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	4
F無言	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
Gその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	2	0	0	1	1	0	0	16	21

7 メール相談(時間帯別受信状況)

時間帯	0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

令和5年度 青少年指導委員による補導状況（11月～1月）

行為・区分		学識別	学生・生徒					無職少年	有職少年	合計
			小学生	中学生	高校生	学 生 の 其 他 の	小 計			
行 為 種 別	飲 酒									
	喫 煙									
	深 夜 徘 徊									
	不 良 交 友									
	怠 学 ・ 怠 業									
	シンナー等薬物乱用									
	不 健 全 娯 楽	ゲームセンター入場								
		パチンコ店入場								
		その他風俗営業入場								
	暴 走 行 為									
	自転車二人乗り・無灯火						2 (1)		2 (1)	
	危 険 な 遊 び									
	そ の 他	帰 宅		4 (2)	6		10 (2)			10 (2)
マ ナ ー										
そ の 他										
合 計			4 (2)	6		10 (2)	2 (1)		12 (3)	
措 置 区 分	声かけ（注意・指導）		4 (2)	6		10 (2)	2 (1)		12 (3)	
	家庭・学校・職員等連絡									
	警察・派出所等連絡									
	他機関への連絡・通告									

※各欄下段の()内は女子で内数

街頭補導日誌（要約） 令和5年11月～6年1月

元吉原班	11月9日(木)	元吉原中 生徒指導教諭と情報交換、体育祭・文化祭など行事は順調で、1-2年生は落ち着いており、3年生は受験モードに入り緊張感をもって勉強している様子。東田子の浦駅及び吉原駅周辺を見回りも問題なし。
浮島班	12月15日(金)	浮島まちづくりセンターに集合。県内一斉補導の前に小中学校の先生と情報交換した後、浮島緑地公園方面を巡回した。特に変わったことはなかった。
須津班	11月4日(土)	須津小で開催の「須津ふるさと秋まつり」終了後、夜間補導を実施。神谷公園で高校生3人に声かけして帰宅を促す。神谷公園のゴミ箱の片付け、その他、公園遊具の劣化、点灯していない街灯を発見した。
吉永第一班	12月15日(金)	県内一斉補導開始前に小中学校の先生方と情報交換、コロナは下火になり穏やかな学校生活を送っているとのこと。情報交換後、各支部に分かれて補導活動を実施。特に問題なし。
吉永北班	1月16日(火)	吉永北まちづくりセンターに集合し、ミーティング後、青パトで北地区を中心に巡回。問題行動は発見されなかった。
原田班	12月27日(水)	原田まちづくりセンターで情報交換を行い、地区内を巡回した。冬休みで補導対象者に会うことはなかった。原田公園の駐車場整備工事が完了し、ますます利便性が増したようだ。
富士見台班	12月8日(金)	マックスバリュ付近のバス停から補導をスタート。子供たちだけで遊んでいる姿はなく、すれ違う自転車に乗る高校生も灯火しており、特に問題なし。
神戸班	12月15日(金)	青パト2台に分かれて県内一斉補導を実施。公園や学校付近を巡回したが雨上がりということもあり、補導対象者を見かけることはなかった。
青葉台班	12月21日(木)	青葉台まちづくりセンターで情報交換後、新東名トンネル、公園、広場、コンビニ等を巡回。ふれあい広場周辺はきれいになっていた。その他も寒くなってきたせいか子供たちに会うことはなく、問題なかった。
今泉班	12月15日(金)	県内一斉補導を青パトにて実施した。今泉まちづくりセンター中心に北はマックスバリュ今泉店、北は宇東川交番、西は吉原公園、南は依田橋町、国道1号バイパス高架下まで地区全体を巡視したが問題なし。
吉原班	1月18日(木)	吉原まちづくりセンターから食鮮館タイヨー→ザ・ビック→ジャトコ前→山神社→吉原本町駅→本町通り→中央駅と巡回。無灯火自転車の一般人に声かけ、本町駅に放置自転車数台、ヘルメットをかぶっていない自転車が多数。
伝法班	11月9日(木)	伝法まちづくりセンターに集合し、伝法小学校、吉原一中周辺を巡回したが、補導対象者に会うことはなく、特に問題なし。
広見班	12月7日(木)	広見まちづくりセンターに集合、車で広見小、市営団地、商店街付近を巡回したが青少年に会わず、ウォーキングする大人だけ。寒くて出歩いている人が少ないようだ。
大淵班	1月31日(水)	交番との情報交換はできず巡回開始。相変わらず夜間は人通りがなく、地域の状況も特に変わった様子はなかった。
丘班	11月1日(水)	丘まちづくりセンターに集合し、スポーツ公園・傘木神社・岳陽中及び西富士バイパス側道を巡回したが、問題行動は無かった。
鷹岡班	12月15日(金)	県内一斉補導。鷹岡まちづくりセンターでミーティング後、公園、コンビニ、小中学校、マックスバリュ厚原店を巡回。特に異常はなかった。
天間班	1月11日(木)	県内一斉補導。新年ということで情報交換の後、気持ちも新たにコンビニ、天間小、富士西公園、児童公園、天満宮などを巡回。補導対象者の姿は見受けられず特に異常なし。
岩松班	12月15日(金)	県内一斉補導の準備(受付名簿・腕章等)でいつもより早めに岩松まちづくりセンターに集合。4つのコースに分かれ巡回を実施。問題事項の報告なし。巡回後、小中学校教頭先生との情報交換を行った。

岩松北班	11月15日(水)	岩松北まちづくりセンターで情報交換後、車2台に分かれ地区全体を巡回。四ツ谷公園で前回も注意した中学校3年生3人がベンチで話していたので帰宅を促した。その他、岩本山公園、実相寺、コンビニなどは異常なし。
富士第一班	12月15日(金)	県内一斉補導で駅北まちづくりセンターに集合し、情報交換した後、まちづくり協議会青少年育成部員と合同で巡回。金曜の夜間で人出は多かったが、若年層の姿は見られず、声かけすることもなく問題なかった。
富士北班	1月11日(木)	富士北まちづくりセンターに集合し、富士第一班と合同で実施。中央小の先生と情報交換。学校の様子は穏やかで問題ないとのこと、米之宮公園から青葉通り周辺を巡回したが、人通り少なく補導対象者と会うこともなかった。
富士駅南班	12月15日(金)	県内一斉補導。まちづくり協議会長のあいさつの後、小中学校や各種団体との情報交換を行う。その後、巡回したが、報告するような事例はなかった。
富士南班	1月17日(水)	富士南まちづくりセンターに集合し、情報交換後パトロール実施。小中学校、子どもクラブ、神社、新幹線側道付近を見回ったが青少年に会うことなく終了した。
田子浦班	11月16日(木)	田子浦まちづくりセンターに集合し小中学校と情報交換。インフルエンザの流行もなく学校行事も順調に進んでおり、青少年非行の報告はないが不登校が増えているとのこと。その後、パトロールを実施し、公園で中学生に声かけ。
松野班	11月24日(金)	情報交換後巡回。小中学校に新設されたテニスコートや体育館をフルに使ってスポーツ活動が行われており、周辺で青少年たちが問題行動を起こすような雰囲気はなかった。公園は相変わらず落し物が多かったが治安が悪くなるような兆候は見られなかった。
女性第一班	12月9日(土)	富士本町通りの北方面から西側を巡回した。土曜日の午後、小・中・高校生に会うことはなかった。道路にはゴミが落ちておらず、きれいで静かで青少年が健全に生活できる環境が整っていると感じた。
女性第二班	1月27日(土)	広見公園内をパトロール。多目的広場や博物館の東側を通り、駐車場までのコース。木々は手入れされゴミの散乱もなし。年配の方や犬の散歩をする人は見受けられたが、子供連れの人たちには会わなかった。
女性第三班	11月21日(土)	エスポット、ドン・キホーテ、セゾ、米の宮公園をパトロール。エスポット、ドン・キホーテには子供の姿はなく、セゾは文房具やコスメを品定めする小中学生がいた。米の宮公園も子供たちの姿は少なく問題行動なし。
学校サポート	期間中	学校と連携し、中学校の校内巡回や学校周辺の見守りを行う。また、生徒に対する対応や情報交換等の学校サポート活動を行った。

3月～5月の行事予定

※感染症拡大や気象(荒天)、災害の状況等により、変更(中止や延期等)となる場合があります。

3 月	4(月) 補導措置会議	4 月	5(金) 臨床心理士来所相談	5 月	7(火) 補導連絡協議会
	9(土) 家族会		9(火) ステップスクール・ふじ開始		11(土) 家族会
	フォローアップミーティング		臨床心理士来所相談		フォローアップミーティング
	11(月) 体験学習(お別れ遠足)		13(土) 家族会		14(火) 不登校対策連絡会
	12(火) 臨床心理士来所相談		フォローアップミーティング		臨床心理士来所相談
	不登校対策連絡会		19(金) 青少年対策連絡会		28(火) 臨床心理士来所相談
	13(水) 体験学習(お別れ遠足) 予備日		23(火) 臨床心理士来所相談		31(金) 保護者教室
	15(金) ステップスクール・ふじ 終了		30(火) 臨床心理士来所相談		
	青少年対策連絡会				
	26(火) 臨床心理士来所相談				

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

1 青少年相談事業

面談・相談

- 学校生活や進路に関すること
- 不登校に関すること
- いじめや友人関係に関すること
- 養育や生活態度・性格に関すること
- 非行や性の悩みに関すること
- その他青少年に関すること

【受付時間】 9：00～16：30

(土日祝・年末年始を除く)

事前に相談センターに申し込んでください。

電話相談

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」

9：30～16：30 (土日祝・年末年始を除く)

電話 0545(51)3741 またはメールで

e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

ほっとデジタル相談・ふじ (令和5年2月1日開始)

小中学校の全児童生徒に配付しているタブレットを利用した相談ツールで時間と場所を気にせず、困りごとなどを相談できます。

「ステップスクール・ふじ」

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくための支援をしています。

【利用時間】 8：00～18：00

- 学習○体験学習○創作活動
- スポーツ○保護者懇談会 など

臨床心理士来所相談

月2～3回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。

予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

保護者教室

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者が集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

2 青少年非行防止事業

- 青少年指導委員会
- 青少年健全育成活動
- 環境浄化活動

3 子ども・若者育成支援事業

富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」

概ね中学校卒業から39歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。

【受付時間】 9：00～17：00 (火～土曜日)

(祝日・年末年始を除く)

住所 富士市八代町1番1号

富士市教育プラザ内

電話 0545(55)0562

e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所 富士市八代町1番1号

富士市教育プラザ内

電話 0545(52)4152

FAX 0545(52)3737

e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

● 富士警察署北側

● 岳南電車ジャトコ前駅より徒歩2分